

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

中里・金田地区

平成25年7月

栃木県宇都宮市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	用途地域の人口	人	2,967	3,200	3,352	確定 見込み ●	○	あり なし	3,589	H25年4月	○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	中里原土地区画整理事業や、周辺道路整備等により、交通環境及び居住環境が向上し、人口が増加した。
指標2	公共施設の利用者数	人/年	125,738	130,000	108,500	確定 見込み ●	×	あり なし ●	90,692	H25年4月	×	市町合併後の料金改定に伴い、施設利用者が減少している。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市町合併後の料金改定により有料化した施設の利用者が減少した。
指標3	歩行環境の満足度	%	9.50	20.00	35.20	確定 ● 見込み	○	あり なし	—	H 年月	—	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公共施設周辺の道路整備や歩行者専用道路の整備により、安全・安心な歩行空間が確保されたため、歩行環境の満足度が増加した。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	公共施設及び学校開放施設の利用者数	人/年	149,713	/	156,611	確定 見込み ●	/	/	127,572	H25年4月	/	市町合併後の料金改定に伴い、施設利用者が減少している。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市町合併後の料金改定により有料化した施設の利用者が減少した。
その他の数値指標2				/	/	確定 見込み	/	/		H 年月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3				/	/	確定 見込み	/	/		H 年月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	自然環境と日常生活が調和した居住拠点の形成	・上河内地区の居住拠点として、道路・公園などの都市基盤施設の適正な維持・管理を実施している。 ・上河内地区まちづくり協議会が(平成22年2月設立)、地元自治会など地区内の団体相互の連絡調整を図り、地域内交通の検討や各種イベントの開催をはじめ、各種まちづくり活動を実施している。	・都市基盤施設の整備や、定期的なイベント等の開催により地域住民の絆も深められ、活力ある居住拠点として地域の活性化が図られている。	・引き続き、都市基盤施設の維持・管理を実施していくとともに、地元のまちづくり活動の活性化に向け、自治会など地元組織と連携を深めていく。
	効率的な街中ネットワークづくり	・道路の適正な維持・管理を実施している。 ・地区南部の道路整備を推進した。	・地区南部の道路整備を推進し、市街地内ネットワークの強化が図られている。	・今後も道路などの適切な維持・管理に努めるとともに、未整備道路の整備に向けた検討を進める。
	安全・安心な歩行環境の形成	・歩行者専用道路など歩行者空間の適切な維持・管理を実施している。	・適切な維持管理により、安全・安心な歩行環境が保たれている。	・引き続き、施設の適切な維持・管理に努め快適な歩行環境を確保して行く。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	緑豊かな、ゆとりと潤いのある景観形成の推進 自治会加入の促進	・景観形成の推進・啓発に寄与するパンフレットを作成・配布している。 ・地元自治会と連携を図り、新たな住民の自治会加入を促進している。	・景観形成の推進・啓発により地域住民の意識向上が図られている。 ・新たな住民の自治会加入が進んでいる。	・地元自治会と連携して自治会加入を促進すると共に、地域イベントを通して地域内住民交流を図っていく。
	地域にふさわしい公共交通の構築	・地域住民と協働で地域にふさわしい新しい公共交通の構築に向けて、地域内交通などの運行について検討している。	・地域内交通に関する地元理解が深まり、デマンド型乗り合いタクシーの試験運行が、開始される予定である。	・公共交通の利用が促進できるよう、試験運行開始後の利用促進を図るため、地元運営組織と連携を図る。
	交通安全施設等の補完	・通行者の安全性を更に高めるために、地元自治会などから要望を基に施設等の補完の検討を行っている。	・通行者の安全性の維持・確保が図られている。	・引き続き、地元自治会などと連携を図り、通行者の安全性を更に高めるため検討を行う。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(精算報告)

なかざと かねだ
中里・金田地区

とちぎ うつのみやし
栃木県 宇都宮市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	中里・金田地区	面積	232 ha
計画期間	平成19年度～平成23年度			交付期間	平成19年度～平成23年度		

目標

大目標:住みやすく暮らしやすい生活都市の形成

目標1:高い利便性と周辺環境と調和した魅力的な居住地づくり

目標2:充実した公共サービス利用等を促す効率的な街なかネットワークづくり

目標3:安全安心の歩行環境づくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・宇都宮中心部から北へ約15kmに位置する上河内地域は、鬼怒川や羽黒山等の水と緑に恵まれ、稲作を中心とする農業が盛んであり、また、釣りやパラグライダーなどのレジャーが楽しめるほか、毎年秋には壮大な梵天祭が行われるなど、自然と歴史・文化と生活環境の調和のとれた地域である。
- ・上河内地域は宇都宮市街地との地理的關係からベッタウ的な位置にあることから、民間による大規模な宅地供給により昭和50年代から人口は増えはじめ、また、平成にはいつてからは小規模な住宅団地開発により微増傾向を示し、現在は約9,800人となっている。
- ・一方、宇都宮中心部と連絡する主要地方道藤原宇都宮線の4車線化が現在進められており、これにより宇都宮中心部との時間距離も相当短縮されることから、今後、同沿線地域を中心に都市化が急速に進むことも予測されている。
- ・また、地域住民からは日常的な生活を支える商業施設の充実や下水道などの日常的な生活環境の整備を求める声も多くなっている。
- ・これらの事情を踏まえ、上河内地域としては都市計画の運用による良好な市街地環境の形成を目指し、旧町において平成13年度に都市計画に関する基本方針(都市計画マスタープラン)を策定、平成15年に用途地域を決定し、中規模小売店舗の立地や一般国道293号・主要地方道藤原宇都宮線の交差点改良(県施行)などを進めてきた。
- ・特に、現在、計画に基づく先導的な市街地整備として、平成15年度より行政と地権者の相互協力のもとに中里原土地区画整理事業を進め(平成18年度からの施行)、長年の目標であった上河内地域としての人口規模一万人以上を確保する上で大きな役割を担っている。

課題

- ・人口定着と土地区画整理事業の採算性を確保するためには、中里原土地区画整理事業区域内へ早期の建築誘導が必要であり、スケジュール・資金などにおいて効率的に事業実施していくことが重要である。
- ・また、上河内地域らしさである水と緑といった自然環境と日常的な生活環境の調和した住宅地を廉価に提供していくなど、宅地購入を誘導できる付加価値のある居住環境が求められる。
- ・市街地中央部に公共施設が集約している本地域では、良質な公共サービスをより多くの住民に提供するために、将来的な宅地増進の誘導も視野に入れた市街地内ネットワークの強化が求められる。
- ・また、公共施設の集積ゾーンには地域自治センター・生涯学習センター・図書館のほか、小学校・中学校も立地しており、ますます進展する少子高齢化、また、地方小都市でも犯罪が増えている社会環境を踏まえれば、安全・安心に配慮した環境づくりは定住を促す上で不可欠な要因となっている。

将来ビジョン(中長期)

地域規模・地域環境を生かしたコンパクトシティの形成

- ・旧上河内町の都市計画に関する基本方針において、本地区を含む市街地ゾーンは「賑わいと快適性・利便性ある市街地」として位置づけられ、居住拠点・シビック拠点にふさしい都市基盤整備、生活環境整備、近隣商業等立地、公共サービス施設の集積化などを進めることで、付加価値の高い定住環境を提供していくものとしている。
- ・これを受けて、行政による本格的な市街地づくりである中里原土地区画整理事業後の中長期の将来ビジョンにおいては、宇都宮中心部との幹線軸である主要地方道藤原宇都宮線の4車線化早期完了を推進するとともに、「上河内地域市街地南部での民間開発の適正誘導」「集積する公共施設等の利便性向上」、また住民ニーズが高い「買い物環境の充実」などを継続的に進めることで、まとまりある小さな地域ゆえの地域規模・地域環境の素地を十分に生かした上河内らしさのあるコンパクトシティの形成を図るものである。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
a 用途地域の人口	人	用途地域の定住人口	人口の増減により居住地としての促進度を検証する。宅地の増進と住環境の向上により住宅地としての価値を高め、新規転入者の増加を期待する。	2,967	H18	3,200	H23
b 公共施設の利用者数	人/年	図書館・生涯学習センター・上河内運動場・テニスコート等の利用者	集積する公共施設の利用促進度を検証する。アクセス性と安全性の向上により、公共サービスの提供環境を高め、より充実した生活へのサポートを目指す。	125,738	H16	130,000	H23
c 歩行環境の満足度	%	地域自治センター・学校等周辺の歩行に関する安全性の住民意識調査	公共公益の中心である地域自治センター周辺の歩行環境の安全性を検証する。歩道照明の整備により、防犯性を高め、より安全性の高い市街地づくりを目指す。	9.50%	H18	20.00%	H23
d							
e							

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(魅力ある居住地づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定住人口受け入れの先導的な施策である中里原土地区画整理事業により生み出された街区公園について、ユニバーサルデザインにも十分に考慮した付加価値ある整備を図る。1号公園には丘陵部の森林が含まれることから地形・植生を生かしつつ、花木等の植栽も行い、シンボリックでかつ身近な癒し空間として整備し、2号公園は近隣居住者の子育て環境や交流の場として整備する。また、1号公園のアクセス性を向上させるため、進入道路を整備する。 ・安心して暮らせる環境づくりとして、大雨等で河川の洪水や溢水等による被害を防ぐ地域防災のため調整池の整備をする。 ・中里原土地区画整理事業区域の内部及び隣接して流れる古用水は自然緑化に配慮した護岸整備を図り、市街地と自然環境が調和したうおいある景観づくりを行い、また、土地区画整理事業に伴う水路再整備の一部として国道293号を横断する水路を整備する。 ・地域住民が主体となって愛着あるまちづくりを展開するため、公園・広場里親制度を創設し、地区内の公園の管理を通じた地域交流を支援する。 	<p>中里原土地区画整理事業(関連事業、市)、宇都宮市公共下水道事業(関連事業、市)、公園事業(基幹事業/1号公園、2号公園)、古用水改修整備事業(提案事業)、国道293号横断水路整備事業(提案事業)、地域生活基盤施設(基幹事業/西調整池、東調整池)、公園進入道路整備事業(提案事業)</p>
<p>整備方針2(街なかネットワークづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本地区北部には多くの公共施設が集積することから、地区内外からの施設へのアクセス性の向上を図るため、周辺の連絡道路における幅員狭小等のボトルネック部分を解消する。 ・中里原土地区画整理事業区域や上河内市街地南部において、市街地骨格軸である一般国道293号や主要地方道藤原宇都宮線を中心とする段階的な道路機能に基づく整備を図るとともに、利便性と安全性に配慮した生活道路を提供する。 ・特に上河内市街地南部においては、民間開発を誘導する要因としても地区幹線となる道路整備を図り、人口定着・増加のための宅地増進を支援する。 ・歩道を設置する道路においては、安全性と段差の少ないバリアフリーに配慮した道路構成にすることで、地域生活に密着した道路環境を実現する。 	<p>道路事業(基幹事業/市道13381号、市道13382・13383号、市道13045号、市道13047号、市道10111号、市道13125号、市道13390号、市道13418号、市道13420号、市道13384～13417号)、市道10115号・市道13075号・市道13128号・市道13127号・市道13421号(関連事業、市)、中里原土地区画整理事業(関連事業、市)、中里原交差点改良事業(関連事業、栃木県)</p>
<p>整備方針3(歩行環境づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中里原土地区画整理事業区域においては、主軸である市道13381号の歩道へデザインに考慮した街路灯を設置し、夜間歩行の安全性向上を図るとともに、新しい住宅地にふさわしい景観形成を実現する。 ・また歩行者専用道路では、インターロッキング、車止めの設置により、周辺環境に調和した安全な歩行空間を確保する。 ・公共施設が集積する地域自治センター周辺の道路においては街路灯を整備し、子どもたちの安全な通学や誰もが安心して施設利用できる環境を整えることで、本地域への定住を促す安全安心の環境を向上させる。 	<p>高質空間形成施設(基幹事業/歩行者専用道路、地域自治センター周辺街路灯)、中里原土地区画整理事業(関連事業、市)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調和のとれた良質な街並みの形成 中里原土地区画整理事業区域においては、地区計画の導入により建物の用途・規模、かき・さく等の設置について誘導を図るものであり、周辺の田園・森林と調和する市街地景観の形成を図る。 ○持続的なまちづくりの活動 現在、中里原土地区画整理事業の地権者から構成されている中里原地区まちづくり研究会を中心に、整備後の地区に関する維持・管理活動等を継続的に行うことを予定している。 	

